

ふあみいゆだより

第38号

社会福祉法人瑞穂会
ふあみいゆ行田
行田市大字下須戸75番地
TEL 048-559-4165
ふあみいゆ東館
行田市大字下須戸65番地1
TEL 048-559-5561
令和6年12月発行
発行責任者 藤井尚子
<http://famille-gyoda.com/>



「ふあみいゆ敬老会」
小嶋素志理事長から褒章状



最高齢 104 才 藤間敏子様



行田市長 行田邦子様



埼玉県議会議員
柿沼貴志様



埼玉県市議会議長会会長
行田市議会議長
町田 光様



行田市議会副議長
福島ともお様

ふあみいゆの敬老会と秋祭り ～ コロナ禍の教訓を生かして

ふあみいゆ行田 施設長 藤井尚子



今年も残すところわずかとなりました。

4年余りの間施設はコロナ禍に翻弄されましたが、今年はその教訓を生かして従前の暮らしを取り戻すことを念頭に施設運営に取り組んで参りました。

9月に開催した敬老会では、ふあみいゆ行田・東館同日開催とし、賀寿を迎えた利用者様の家族様にも同席いただいて、利用者様の健康と長寿を祝賀することができました。

席上、行田市長様をはじめ県議会議員、市議会議員の皆様にも、心温まるご祝辞と励ましのお言葉を頂くことができました。大勢が見守る中、ふあみいゆ行田 15名、東館 4名の賀寿者の皆様は、晴れやかな表情で理事長から長寿を寿ぐ褒章状を受け取られていました。

10月には家族様の参加をいただいて秋祭りを開催しました。ふあみいゆ行田では「ふれあい」をテーマに、ゆったりとした雰囲気の中で家族様との会食を楽しんでいただきました。「一緒に食事をする」という当たり前のことを、秋祭りを通して復活できたことは大きな前進であったと考えています。

ふあみいゆ東館では「一祭合祭」をテーマに多くの地域の方の参加を頂き盛大に開催されました。今後とも、利用者様が従前の落ち着きを取り戻し生き生きとより豊かに暮らしていただける様、スタッフ一同取り組んで参りますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ふぁみいゆ行田の暮らし

2024 年秋祭り



職員有志による演奏会

今年のふぁみいゆ行田秋祭りでは、コロナ後初めて家族様と一緒に屋台の食事を楽しんでいただきたいと、行事委員会が中心となり企画を進めました。

当日は、2階ホールで行われた職員有志の演奏会をお聞きいただきながら、焼き立ての甘いベビーカステラ、ほくほくのじゃがバター、入れたてのホットコーヒーなどが選べるドリンク・スーパバーを召し上がっていただきました。マスクを外して、食事をしながらの会話が弾み、利用者様の楽しそうな笑顔を見ることができ、準備してきた職員一同苦勞が報われた思いでした。

屋台以外にも、施設内に設けたゲームコーナーで射的、コイン落とし、サイコロクエスト等、利用者様が楽しめる工夫をこらし、家族様と写真も撮れる場面も設けました。家族様2名までと参加人数を制限させていただきましたが、あたたかな雰囲気の中で無事に終了することができました。来年はさらにパワーアップして、家族様や利用者様の笑顔がたくさん見られる秋祭りの企画を考えていきたいと思ひます。

生活相談室長 大熊裕子



射的



コイン落とし



記念撮影

ポジショニング研修



褥瘡予防の一環として、新人介護職員を対象にベッド上でのポジショニング研修を行いました。講師はリハビリ専門職が担当し、クッションの適切な挟み方や配置方法、その目的について丁寧に指導しました。

正しいポジショニングは、褥瘡の発生リスクを軽減し、利用者様の生活の質向上に繋がります。参加職員は熱心に研修へ取り組み、実技を通して理解を深めました。今後もより質の高いケアのご提供を目指し、職員教育を充実していきたいと思ひます。

リハビリ室長 作業療法士 三根裕太

敬老会メニュー 栄養課



今年の敬老会では、心温まるイベントが開催される中で、皆様に喜んでいただけるよう、巻き寿司を用意しました。

厨房のスタッフが一つ一つ丁寧に作り上げ、見た目にも美しく、食欲をそそる色とりどりの巻き寿司は、どなたにも喜んでいただけました。巻き寿司が並べられると、皆様からは、「こんなに美味しそうな巻き寿司を見るのははじめて!」といった声が聞かれ、笑顔が広がりました。今年の敬老会も無事に終了し、素晴らしい時間を過ごすことができました。手作りの巻き寿司が、利用者様にとって大切な一日をより特別なものにしたことを嬉しく思ひます。 栄養課長 管理栄養士 藤原富男

カボチャのクリームチーズケーキ 栄養課

10月の手作りおやつはハロウィーンにちなみ、オレンジ、紫、黒の素材を用いてカボチャのチーズケーキを作りました。チーズを多めに使用し、濃厚で柔らかなケーキに仕上げ、利用者様にも食べやすくしました。また、チョコチップを加えたことにより、変わった食感を楽しめて飽きのこない味を目指しました。利用者様からも好評で喜んでいただくことが出来ました。



栄養課 調理師 片山 菜・島崎莉菜

実習生のギター演奏



誠和福祉高校2年生の渡邊結任さんが、利用者様に楽しんでいただきたいとギターを弾きながら歌を歌って下さいました。

将来は介護福祉士セラピストを目指しているそうです。「上を向いて歩こう」や「手のひらを太陽に」などの演奏に合わせて利用者様も口ずさんでいらっしやいました。

実習担当 さざんかユニットリーダー 小林政裕

ふぁみいゆ行田の暮らし

手作りスイートポテト こすもす・まんさくユニット



ベランダのプランターで栽培したサツマイモが、ついに収穫の時期を迎えました。利用者様と一緒に苗を植え、水をやりお世話を続けてきたサツマイモは、育てる喜びと収穫の達成感を感じる良い機会になったことでしょう。収穫したサツマイモは小ぶりながらもジューシーで甘みが強く、そのままスイートポテトにして美味しくいただきました。秋の味覚を楽しむことで、日常に季節の彩りを感じるひとときでした。

こすもすユニットリーダー 福田義文

祝 100歳 さざんか・こぶしユニット



100歳を迎えられた利用者様のお誕生会をさせていただきました。ご本人の希望もあり「日本酒の辛口が飲みたい」と。「おいしいよ!」「ぐっと注いで」と笑顔で召し上がってありました。利用者様のご希望に沿えるような支援をこれからも続けていけたらと思います。

こぶしユニットリーダー 鈴木真理

ネパール人材

ふぁみいゆ行田では、新たにネパールから来た女性3名の入職があり、利用者様の生活を支える手助けをさせていただいております。

「がんばっていきたいと思います。よろしくお願ひいたします」

介護職員 ライ・マヤ



園庭の柿で季節を感じる はくれん・さくらユニット



秋の訪れを感じる季節、施設の園庭に実った柿を利用者様と一緒に収穫しました。散歩をしながら手を伸ばして摘んだ柿は、ひとつひとつが鮮やかな色をしており、利用者様から「美味しそうだね」と嬉しそうなお顔を拝見することが出来ました。秋の実りを目の前にし、五感で感じるひとときは皆様にとっても新鮮な体験となったことでしょう。

はくれん・さくらユニット 福地克弘

外出行事で気分転換! すずらん・ききょうユニット



利用者様とともに「イオン羽生」へ外出行事を行いました。館内をゆっくり散策しながら、施設とは違う雰囲気を楽しんでいただき、100円ショップでお買い物をしました。靴下やおやつなど、それぞれが興味津々で商品を手に取り、選ぶ姿がとても印象的でした。利用者様にとって大変貴重な時間となったことでしょう。すずらん・ききょうサブリーダー 木村 蓮

お盆行事 ゆり・りんどうユニット



利用者様に季節の変化を感じられるよう、ユニットの一角をお盆の飾りで彩りました。飾りつけをご覧になっていた利用者様から口々に「懐かしいね」「昔を思い出すよ」といった声が聞かれ、いつもと少し違う雰囲気の中で心穏やかに時間を過ごしていただきました。

ゆり・りんどうサブリーダー 今村真人

ふぁみいゆデイサービスだより

指圧の心



医療現場での経験を活かし「少しでも利用者様の健康維持に貢献できるように」とデイサービスでの指圧(マッサージ)に携わらせて頂き、15年が経ちました。

東洋医学では「調和」を重んじております。高ぶっているものは鎮め、落ちているものは上げる。そうする事で均衡(恒常性)を保ち健康を維持するという考え方をもとに施術を行っています。リハビリや疼痛緩和はもちろんのこと、認知症の予防や治療法としても有効な指圧療法です。そして、ズバリその肝は「血行促進と姿勢と神経を整える事!」です。

おカラダのみならず、不安や悩みも一緒に和らげながら、皆様とこれからも健康に楽しく携わらせて頂きたいと思っています。

指圧師 久保田靖孝

デイサービス運動会



10月23日、恒例の運動会を開催しました。日頃のリハビリの成果を思う存分に発揮して頂けるよいチャンスです。紅白の2チームに分かれ、玉入れ、紐通しリレー、芋掘りゲームの3種目で競い合いました。どの種目でも一致団結し、大きな声援を送り、白熱したバトルを繰り広げました。

たくさんのお笑顔、笑い声があふれた楽しい運動会でした。デイサービス介護職員 永沼侑希

ふあみいゆ東館だより

一祭合祭 ～地域と共に～ 2024 ふあみいゆ東館秋祭り を終えて

ふあみいゆ東館 館長 野口清美



「一切合切」とは「なにもかもすべて」「すべて残らず」という意味の四字熟語です。ふあみいゆ東館は地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まで全ての人達と一緒にお祭りを楽しむ意味で「一祭合祭」のスローガンで準備を進め、最低限の感染予防策で最大限の喜びや感動を得る事が出来ました。バザー開催にあたり、地域の皆様から自宅で採れたお野菜や使用しなくなった日用生活用品、衣服等の寄付をいただきました。ご厚意に感謝申し上げます。この秋祭りを通して、ふあみいゆ東館が地域に根付いてきていると実感することができました。

ふあみいゆ東館はもうすぐ創立 10 年を迎えます。今後も地域の皆様がどなたでもお気軽に立ち寄っていただけるような地域共生拠点をめざし、地域包括ケアシステムや共生社会の構築に取り組んで参りたいと思います。



秋祭り「一祭合祭」にご協力・ご参加頂いた皆様

真名板薬師太鼓保存会様 16 名

社会福祉法人健翔会障害福祉サービス事業所大地様 10 名

柿の木サロン協力員様 27 名

柿の実カフェ参加家族様 6 名

子供食堂参加者様 36 名

学生ボランティア様 (太田中 2 名 太田小 2 名)

敬老会



9/16 東館にて敬老会が行われました。市長様はじめ、県議会議員様、市議会議員様、地元自治会長様にもお祝いに来て頂き、4 名の賀寿者の方

をお祝いしました。とても盛況でした。家族様、利用者様、職員からのお祝いの言葉を聞いて涙ぐみ利用者様もありました。以前入所されていた利用者の家族様のご厚意で大正琴を披露していただきました。四重奏のハーモニイで、懐かしい曲やお祝いにふさわしい曲の演奏があり、とても感動的でした。

東館特養 介護リーダー 福島ゆかり

夏祭り



7/30 に夏祭りを開催しました。

サロン協力員のみなさんに冷や汁と天ぷらを、小東風の利用者様に行田名物ゼリーフライをつくっていただきました。普段小食な利用者様も冷や汁をおかわりをするなど、とても満足されていました。

午後には利用者様に浴衣の着付けをしていただき、屋外に出て盆踊りとスイカ割りを行いました。浴衣姿を褒められ「こんなばあさんが着たって」と恥ずかしがる姿もありましたが、とてもいい思い出となったことでしょう。

東館特養介護職員 持村 由加里

花火大会



8 月下旬に花火大会を行いました。前日利用者様にお知らせをすると「久しぶりだね」「打ち上げ花火もやるの?」と待ち遠しそうな声があがりました。

当夜はほぼ全員の利用者様が手持ち花火を持って、「綺麗だね」と嬉しそうに会話されていました。看取りの利用者様もベッドのまま屋外に移動し花火を見られ、涙ぐまれておりました。来年も花火大会を行いたいと思いました。

東館特養介護職員 折原愛深



ふぁみいゆ小東風だより

🍃 E様の思い出

10月25日にE様が旅立たれました。E様は一人暮らしで、平成29年小東風立ち上げの年から利用され、私のことをケアマネジャーというより本当の息子のように可愛がっていただきました。訪問時に出してくださる“おいしいお茶と漬物の味”や安否確認の訪問予定が30分近くも話し込んだこと等を思い出します。「利用者様、職員に食べていただく事が生きがい」と、今年の夏祭りでも気力を振り絞ってフライを焼いて提供していただきました。

8月中旬より体調を崩し、徐々に衰弱され、お別れの時が近づいてきました。そのような姿を見るのは本当に辛かったですが、「小東風で最期を迎えたい」と迷わず答えてくださったE様の言葉に、精一杯応えたいと思いました。眠るように旅立たれたE様、沢山の思い出をありがとうございました。小東風ケアマネジャー 木村貴則



🍃 ミキ薬局勉強会 柿の実カフェ



10月22日サロン柿の木で、小東風利用者と地域の方々11名が参加し、ミキ薬局の勉強会が行われました。ブラックライトを使い手洗いについての講義と実演。汚れの多さに皆びっくりされていました。また管理栄養士さんの「手ばかり栄養法でバランス良い食事」の講義では日頃の食事について質問が飛びかい、健康意識の高さにおどろかされました。小東風介護主任 島崎かね子

🍃 樽抜き



東館の庭に実った柿。今まで処分していた渋柿ですが、今年は樽抜き（渋抜き）を利用者様と一緒に行いました。昔を思い出し手際良く作業して下さいました。渋が抜けてからおやつに提供する予定です。来年は干柿にチャレンジ。小東風介護リーダー 前田朋子

ふぁみいゆ訪問介護

🍃 自費サービスについて

ふぁみいゆ訪問介護では様々な自費サービスを利用されている方が多くいらっしゃいます。病院受診の付き添い、除草、冷蔵庫内の掃除、窓ふき、嗜好品の購入等、介護保険内では出来ない事を自費利用で支援しています。



特別な掃除等の資格があるわけではありませんが、親切・丁寧に対応しています。草取りは1人または2人でするため時間を要し、数回に分けて利用される方もいらっしゃいます。

自費利用に関するご相談はサービス提供責任者（蛭間・小林）までお気軽にご相談ください。

30分 1000円 1時間 2000円 2時間 4000円
サービス提供責任者 蛭間理恵



地域包括支援センターふぁみいゆ

🍃 はあとカフェで秋の運動会



10月21日(月)に、参加者7名、ボランティア6名と包括職員4名で秋の運動会を開催しました。選手宣誓から玉リレー・借り物競争などなど、楽しいひと時を過ごすことができました。

当日は行田市長様が見学に来られ、一緒にご参加いただき、皆さん笑顔で会話されていました。忘れられない一日になったことでしょうか。ありがとうございました。毎月第4月曜日は「はあとカフェ」を開催しております。季節毎のイベントや物づくり、体操など参加者に楽しんでいただいております。

地域包括支援センター管理者 小沢めぐみ

ふぁみいゆ訪問看護ステーション

🍃 利用者様の暮らしを支える～O様の事例

COPD（慢性閉塞性肺疾患）にて在宅酸素を使用しているO様、独居。もともと煙草が大好きなヘビースモーカーでした。降圧剤などの薬も内服せず、気ままな生活でしたが、心筋梗塞にて入院。退院後より訪問看護が開始されました。退院の条件は「在宅酸素と禁煙」。O様はしぶしぶ受け入れ、ご自宅での生活が始まりました。その生活を支えるのは、ケアマネジャー、訪問介護、訪問リハビリ、福祉用具、配食サービス、訪問看護。ほぼ毎日各サービスが入ることで、訪問看護がセットした薬の内服や吸入を忘れず行うことができました。今は呼吸状態も安定しています。多職種との連携でO様の暮らしと健康を支えることができました。訪問看護ステーション管理者 奥野しのぶ



介護大学のふぁみいゆ分校を開校

令和6年6月1日、ふぁみいゆ行田に「介護大学校」の分校を開校しました。

「介護大学校」とは、実務者研修の履修を目的として株式会社推進協が設置運営する学校です。履修の場として分校を各地に設置し、介護人材確保の促進を図っています。

ふぁみいゆ分校では第一期生として6名のスタッフがe-ラーニングで受講を開始しました。11月7日からは、スクーリングがスタートしました。これから12月にかけて実務者研修修了を目指し、8日間の集合研修に取り組んでまいります。施設で研修を行うことによって、資格習得の促進と指導育成力のアップにつながると考えます。また、他の職員への刺激にもなり個々のスキルアップにもつながると考えております。

次期からは外部の受講希望の方も積極的に受け入れして、地域のみならずの実務者研修資格取得促進のために貢献できるように、分校として、発展していけたらと考えております。



施設ケア課長補佐 鈴木真理

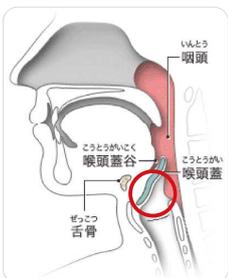
嚥下内視鏡検査実施

ふぁみいゆでは口から安全に召し上がっていただくために東京医科歯科大学から専門の歯科医師をお招きし、誤嚥が心配な利用者様の嚥下内視鏡検査を実施しました。

嚥下内視鏡検査とは、内視鏡を用いて飲み込みの状態を確認する検査で、嚥下機能の評価や食事時の安全性向上に役立ちます。この検査により、利用者様がより適切な食事形態を選べるようになり、誤嚥によるリスクを軽減することができます。

嚥下内視鏡検査は誤嚥予防において非常に効果的で、利用者様の安心・安全な食事を支える大きな助けとなります。

ふぁみいゆ行田・東館 歯科衛生士 清水恭子



柿の実カフェ



令和6年4月から太田保育園主催の「柿の実カフェ」を開催しています。

地域の子育て家庭を応援する事業です。乳幼児と保護者の方に参加いただいて、ベビーマッサージやアフターマタニティ体操、子育てに役に立つ講座等を開いています。10月は歯科医師の松井先生による口腔ケア講座でした。カフェでお友達になったというママさん同士や先輩ママたちとの座談会での会話も弾みます。私たちスタッフも月毎に成長する赤ちゃん達に会えるのを楽しみにしています。

東部民協 主任児童員 鈴木幸江



地域医療機関との協力体制

ふぁみいゆ行田・東館両施設は、令和6年度から利用者様の疾病を日々管理していただいている嘱託医、地域の医療機関（行田総合病院、行田中央総合病院、羽生総合病院、熊谷外科病院）と「協力医療機関協定書」を交わしています。

介護施設の入居者の緊急時の医療体制を更に強化することを目的としたもので、

- ① 入居者の病状が急変した場合等における相談対応
- ② 施設から診療の求めがあった場合における診療体制の確保
- ③ 入院を要すると認められた入居者の受入（医療機関）

の3要件が求められます。各医療機関とは入居者の急変時の対応について年一回以上確認すると共に、月1回は会議を開催し、新規入居者や緊急受診が必要な入居者、医療ニーズの高い入居者、入院中の様子等の情報交換・共有を行い、実効性のある連携体制を構築して参ります。これからも、利用者様が安心・安全に過ごしていただけますよう、スタッフ一同努力していきたく思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

ふぁみいゆ行田 医務主任 平社 伊津代



ふあみいゆ文芸

俳句



山登り紅葉ながめてきもらしい

仲栄子

放り上ぐる银杏落葉や子らの舞

柴崎泰治

ヒエ混じる稲田の続く過疎の村

小嶋悦雄

畠仕事今年はひとり秋夕焼け

杉田すみ

彼岸花亡き人想い絵筆取る

篠崎則子

天空や夕闇照らす盆の月

斉藤輝子

ヒヨドリのおくらと丸く柿の枝

藤井尚子

見た目より被れば可愛い手編み帽

小嶋ミチ

久しぶり娘と旅とする京の秋

松井美枝子

ラブシャイン深紅のラメと光る街

小沢めぐみ

朝陽差す霜付く窓見て二度寝する

中井文子

いわし雲今夜の夕食つみれ鍋

持村由加里



短歌



そそり立つ黄金の葉の大いらしょう

夕日をまとい光の樹となる

竹内悦子

三十五年動き続ける鳩時計

祖母の想い出打ち続けてる

黒川光子

そばにいてくれるだけでいい菜の花の

明かりで祝うダイヤモンド婚

小嶋敏子

久々に訪れし孫と背くらべ

得意顔にて我を見下ろす

杉山嘉子

柿の実の木立に高しシルエット

数えてみれば師走の残り日

松永郁郎

ピアニストフジコ・ヘミングオカリナと

いびき合いつつふるさとの空

中里えり子

鏡池山を蹴散らす秋の風

池田みさ子

空高くとんび飛び交う白き城

野崎いづみ

秋雨にくもの葉ひかりティアラかな

平社伊津代

柿一つ実家で食ス我がむすめ

浅野賀津子

車いす押されてゆれるすすきかな

梅澤さく

秋さかり银杏ふぶきの風のなか

西野正江



地域交流館 サロン柿の木

🍂 サロン柿の木の活動にご参加ください。お待ちしております！



協力員さんがサロンの活動に携わってくださるようになって8年目になります。これまで何のトラブルもなく、和気あいあいと人間関係が続いています。ボランティアさんのほとんどは、社会的な仕事を終えて人生の余暇を地域のために役立ててみたいと心がけてくださる方々です。地域の皆さまにおかれましても、ご自分の時間が持てるようになりましたら、是非、サロン柿の木の活動にご参加くださいませ。協力員一同お待ちしております。



サロン柿の木 運営委員長 杉田すみ



ふぁみいゆ秋祭りのアトラクション
真名板薬師太鼓保存会の皆さま



イベントを楽しまれる東館の利用者様



大活躍の小、中学生の
ボランティアさん



秋祭りと同時に開催した子ども食堂では、お弁当の他に、楽しい体験ができるチケットが配られて、輪投げや的あてゲーム、綿あめづくりなどの体験コーナーを楽しみました。お子さんの参加は25名でした。



秋祭り当日、利用者様と子ども食堂のお子さんのお料理づくりで大わらわな協力員さんたち。



「柿の木フードパントリー」は、いろいろな方々からご寄付頂いた食品や生活用品をお配りしています。11月は、こども家庭庁からの支援事業として購入した支援品を6家庭様にお配りしました。



大きな草刈り機を駆使して、ひざ丈まで伸びた梅っ子農園の雑草をアツという間に刈り取ってくださった男性協力員さん。頼もしい存在です。



農園の草刈りを終えてひと休み。
お疲れ様でした。



🍂 柿の木サロンのボランティアに参加して



私とふぁみいゆさんとのご縁は父の代からです。父は当時青果店を営んでいて、太田保育園さんに給食の食材を納品していました。父が亡くなり、しばらくして母が認知症になり、特別養護老人ホームふぁみいゆ行田の最初の入所者になったことも不思議なご縁です。はじめは自宅介護をしていたのですが、母も私もなかなか思うようにならず、母の笑い顔も見えなくなりました。入所して落ち着いてきたころ、母と笑って話ができるようになり、ふぁみいゆという場のありがたさをつくづく感じました。「いつか何かお役に立つことが出来たら…」と思っていたのですが、仕事を終えたのを機にサロン柿の木の活動に参加させていただいています。イベントや梅干しづくりのお手伝いに参加して「少しはお役に立っているかしら？」と思っています。私より少し年上の協力員さんが仲良く楽しそうに活動されていらっしゃるのを見て、私も老後は皆さんのように明るく元気に生きたいと思うこのごろです。サロン柿の木協力員 小林紀子